



LION'S SUSTAINABILITY

～より良い生活習慣づくりで取り組む SDGs～



目次

ライオンのこと

P.2 SDGsに通じるライオン130年の取り組み

生活者と一緒に行動する 習慣づくり

P.4 オーラルヘルスケア
習慣づくり



P.6 清潔・衛生習慣づくり



P.8 サステナブルな地球環境
への取組み推進



P.9 水を大切にする
習慣づくり



P.10 プラスチックを
無駄にしない習慣づくり



従業員と一緒に行動する 習慣づくり

P.11 従業員の成長と会社の発展の実現
——ライオンで働く人たち



P.12 社会や環境に配慮した原材料の
調達・使用



P.13 地域社会との生物多様性保全活動



P.14 パートナーと目指す
持続可能な社会の実現



はじめに

ライオンだからこそ
役に立てる
SDGs

ReDesign

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

ライオンは毎日の習慣が、人々の心と身体の健康の実現に加え、
サステナブルな社会の実現にも大きな役割を果たすという考え方のもと、「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)」を
パーパス(存在意義)に掲げています。

そんな当社だからできるSDGsへの取り組みをご紹介します。
SDGsの達成に向けては当社だけでは解決できない課題がたくさんありますので、いっしょに取り組んでいきましょう。



会社概要

P.15 会社概要



SDGsって
何ですか



「Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)」の略称。

2015年9月の国連サミットで
採択されたもので、
国連加盟193カ国が2016年から
2030年の15年間で
達成するために掲げた
17個の目標です。

(国際連合広報センター
Webサイトより引用)

健康な生活習慣づくり

健康的な生活習慣づくりに貢献する製品・サービス
および情報を提供した人数:

のべ 10 億人

オーラルヘルスケア習慣:
5億人

- ・製品・サービスの提供
- ・情報発信
- ・普及啓発活動(インクルーシブ・オーラルケア等)

清潔・衛生習慣:
5億人

- ・製品・サービスの提供
- ・情報発信
- ・普及啓発活動
(手洗い習慣等の普及啓発活動)

サステナブルな地球環境への取組み推進 指標(2030年目標)

ライフサイクルにおける
水使用量
30%削減

(2017年比、売上高原単位)

石油由来の
プラスチック使用率
70%以下

事業所における
CO₂排出量
55%削減
(2017年比、絶対量)

ライフサイクルにおける
CO₂排出量
30%削減
(2017年比、絶対量)

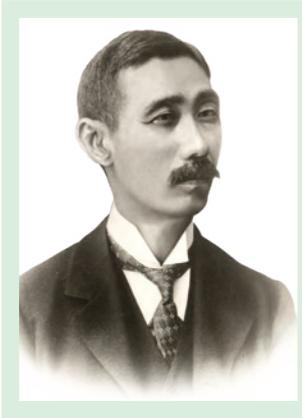
自社の排出量を上回る
CO₂削減貢献
(国内)



SDGsに通じるライオン130年の取り組み

ライオンが取り組んできた環境・社会課題解決への歴史

事業を通じて社会のお役に立つ



創業者 初代
小林富次郎

ライオンは、2021年10月に創業130周年を迎えました。

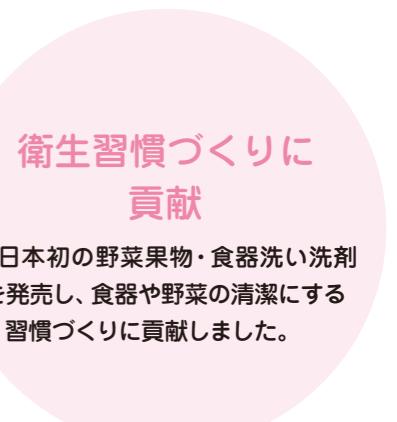
1891年の創業以来、創業者である小林富次郎の言葉「事業を通じて社会のお役に立つ」という精神のもと、環境や社会の課題解決に対し事業を通じて取り組んできました。



人々の健康な毎日を目指して、商品の提供とともに、くらしに役立つ情報発信やより良い習慣づくりなどを推進してきました。今後もライオンは、時代とともに変化する社会課題に対応しながら、一人ひとりの価値ある未来に向けた“今日”に貢献するため、SDGsの達成に向けた取り組みを継続します。



1950年代
清潔・衛生



衛生習慣づくりに
貢献

日本初の野菜果物・食器洗い洗剤を発売し、食器や野菜の清潔にする習慣づくりに貢献しました。

『ライポン-F』

戦後、食生活の変化により野菜を生で食べる人が増える一方、洗浄不足に起因した、野菜に付着した寄生虫による健康被害が深刻化。厚生省(当時)から開発要請を受け、日本初となる野菜・果物・食器洗い専用洗剤が誕生しました

1891

1896

1900

1913

1932

1956

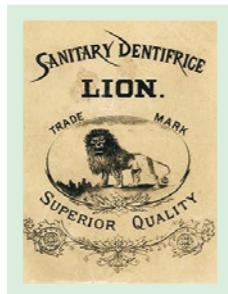


創業者 初代 小林富次郎が
小林富次郎商店を開設

社名の由来

1896年にハミガキの製造を開始。当時、ハミガキの商品名にはゾウ、キリン、トラなど動物の名前が流行していたため、当社は百獣の王であり丈夫な牙をもつ「ライオン」がふさわしいと『ライオン歯磨』と命名。

これが、のちの「ライオン」という社名の由来になりました



社会貢献活動の原点

1900年『慈善券付ライオン歯磨』を発売。『ライオン歯磨』の袋の裏に印刷した慈善券をお客様が児童養護施設など慈善団体に贈り、その枚数に応じてライオンが寄付をする仕組みでした。現在のベルマーク運動に似た仕組みです



口腔衛生の認知拡大

「第1回ライオン講演会」を開催(口腔衛生普及活動を開始)



子どもに正しい歯みがきを

「学童歯磨教練体育大会」(現・全国小学生歯みがき大会)を開催。子どもたちに正しい歯みがき方法を指導しています



1930年代
オーラルケア

歯みがき 習慣に貢献

子どもたちの歯の健康を守りたい、という想いで当時から啓発活動を行っていました。歯みがきを毎日行うことで生活にリズムが出て、心や身体の健康につながっています

SDGsに通じるライオン130年の取り組み



1990年代
清潔衛生

食中毒への対応

1996年、病原性大腸菌O-157による食中毒の集団感染が発生し、社会問題となりました。子どもたちをウイルスや細菌から守るために、正しい手洗いの習慣化の使命から『キレイキレイ』が誕生しました



『キレイキレイ 薬用ハンドソープ』

「楽しく洗える殺菌ハンドソープ」として誕生。「正しい手洗い習慣づくり」にも取り組んでいます

[詳細は P.6](#)

2010年代
清潔衛生

ジェンダー平等やインクルーシブ・オーラルケアは考え方としては新しいですが、ライオン創業者の言葉「事業を通じて社会のお役に立つ」という精神に通じるものがあります。
ライオンは創業当初から様々な社会貢献活動を行ってきました。

出張授業

手洗いの習慣が重要と考え、社員が全国の幼稚園や保育所に出向き手洗い歌と一緒に歌うなどの活動を、また、小学校では手洗いの重要性を一緒に考える授業を行い、子どもたちに手洗いの大切さを伝えています

[詳細は P.7](#)

1967

1973

1997

2010

2014

2021

『ダッシュ』

ライオンが世界で初めて工業化に成功した、生分解性に優れる洗浄成分AOSを配合した洗剤



1960～70
年代
エコ

環境問題への 対応

1960～70年代、河川の発泡や湖沼の富栄養化が発生。この問題への対応として生分解性の高い洗剤成分の開発や洗濯用洗剤の無リン化を進めました

『せせらぎ』

日本で初めて発売した無リン洗剤



『トップNANOX』 (現『NANOX one』)

近年、省資源の観点から、製品のコンパクト化によるプラスチック使用量の削減、詰め替え品へのシフトなどを進めています

[詳細は P.9](#)

2010年代
エコ

2020年代～
オーラル
ヘルスケア



子どもたちの食を支えることでも食堂やこども宅食を通じ、「歯と口の健康」をテーマにした体験プログラムを開発し、子どもたちの自己肯定感の向上に努めています

[詳細は P.14](#)

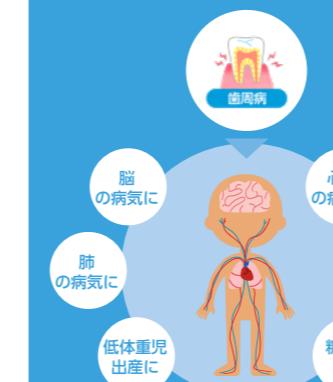


オーラルヘルスケア 習慣づくり

健康な生活を送るためのお口の健康のために、むし歯や歯周病の予防を目的とした歯みがき習慣の定着を推進してきました。2030年に向けて、一人ひとりのライフスタイルや健康状態に合わせた前向きな予防歯科習慣づくりを目指します。



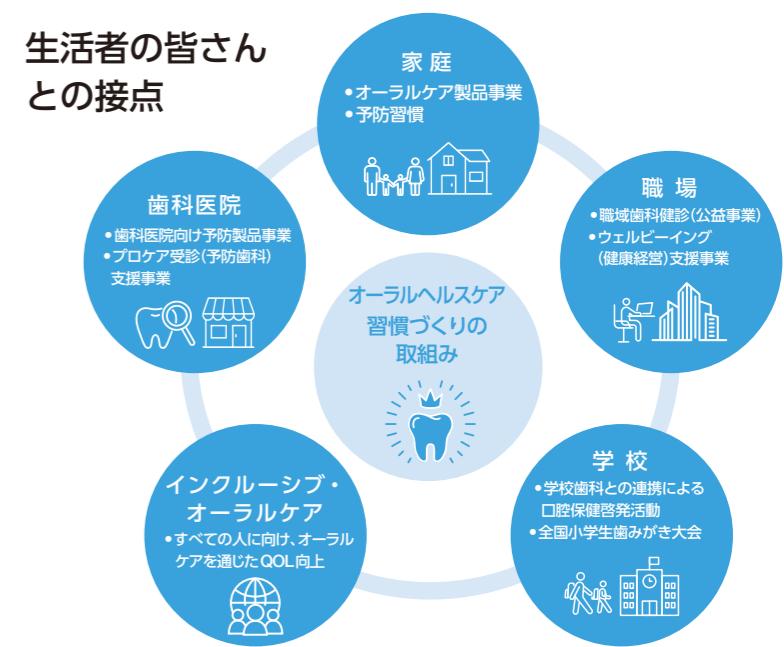
お口の健康は全身に影響する



お口の健康は全身に様々な影響があることがわかつてきました。
歯周ポケットから入り込んだ細菌が持つ毒素や歯周病の炎症性物質が歯ぐきの毛細血管に入り、血液にのって全身をめぐるためです。

歯周病と全身の健康との関連
出所：8020推進財団発行小冊子「お口は万病の元」
https://www.8020zaidan.or.jp/viewer/booklet_202101.html

生活者の皆さん との接点



家庭で予防歯科習慣づくり「セルフケア」要素

#歯みがき回数とむし歯の関係
#楽しく歯みがき→笑顔



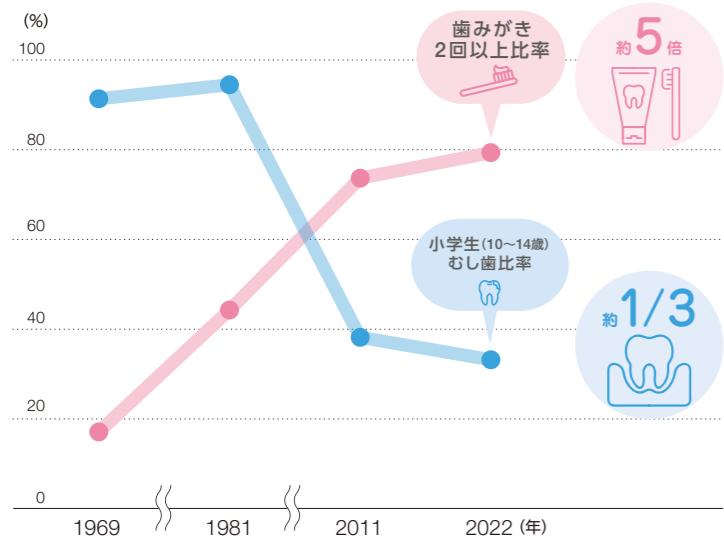
朝と夜だけでなく、昼もみがいてむし歯を予防しましょう

歯みがき回数とむし歯

50年前に比べて人々の歯みがき回数は増加しており、今では1日に2回以上歯みがきをする生活者の割合は約80%に高まり、この50年間で5倍に広がりました。

また、小学生(10~14歳)のむし歯の比率は、この50年の間に約3分の1に下がっています。

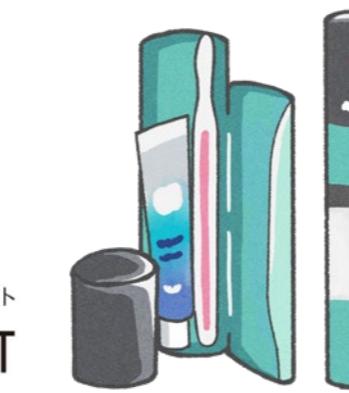
歯みがき2回以上比率・むし歯比率*の推移



昼歯みがき促進

ライオンは、むし歯や歯周病からお口を守るために、「1日3回、食べたら歯をみがく」ことを提案しています。

昼食後の歯みがき(昼歯みがき)を広めるため、オフィスなどの職場で歯をみがきたい人へのより快適な環境づくりを目的に、昼歯みがきに便利なコップ付きオーラルケアセット『MIGACOT』を発売し、歯みがき回数のアップによるむし歯比率の低下を目指しています。



オフィス用歯みがきセット
MIGACOT
ミガコット

家庭で予防歯科習慣づくり

#ハブラシ以外の道具



デンタルフロスも使って、歯垢のみがき残しをなくしましょう

デンタルフロスの歯垢除去率

ハブラシの毛先は歯と歯の間には届きにくいので、ハブラシだけでは歯間の歯垢は落としきれません。残った歯垢はお口のトラブルの原因になります。

そこで、デンタルフロスを毎日活用することが重要です。ハブラシと併用することで、歯間の歯垢除去率が約1.5倍に向上します。



出所：山本ほか 日歯周誌、1975

歯垢除去率(歯間)

約 1.5 倍



デンタルフロス使用促進

ライオンは、小学生以上の子どもや初めての人にも使いやすい商品を提供するとともに、デンタルフロスを使用する必要性を伝え、正しい使い方などの普及活動を行っています。

週に1~2回でも歯垢除去の効果がありますので、まずは時間的に余裕がある夜からはじめてみてください。

ホルダー付きタイプは
持ちやすいので
初心者向け



ロールタイプは
指で使うから細かな
調整がしやすい





学校で予防歯科習慣づくり

全国小学生歯みがき大会

1932年から続いている「全国小学生歯みがき大会」は、毎年「歯と口の健康週間」の時期（6月4日～10日）に合わせて開催しています。参加校がそれぞれ実施日を設定し、無償で提供している教材（児童用ドリル、ハブラシ、デンタルフロスなど）を活用しながら約40分間の本編映像を、Web配信およびDVD教材にて視聴しています。

参加児童は、歯並びやお口の状態に合わせた歯のみがき方、デンタルフロスの使い方を学び、「予防歯科」への理解を深めるとともに、生活習慣の「継続する力」の大切さを学びます。



楽しく身につく歯みがきのうた「イ～ハ～」

小学生の子どもたちが、動画を見ながら楽しく正しい歯みがき習慣が身につけられます♪

動画(みがきたん)
歯科衛生士が歌に合わせてレクチャーしていますので、みがく順番やポイントをマスターしましょう

動画(アニメーション編)
気になるキャラクターと一緒にアニメで、楽しく見ながら歯みがきをして習慣化につなげましょう

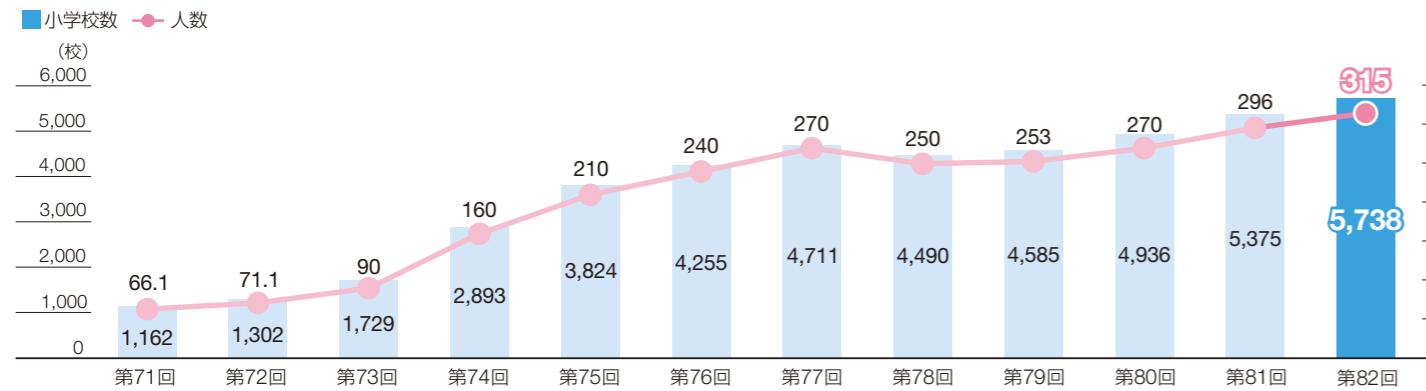
歯みがき順番ポスター
歯みがきの順番やポイントをイラストで確認し、実践してみましょう

<https://go-lion.jp/Corp015>

<https://go-lion.jp/Corp016>

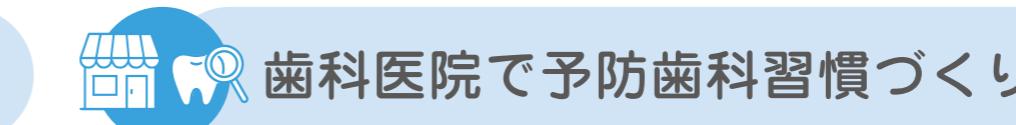
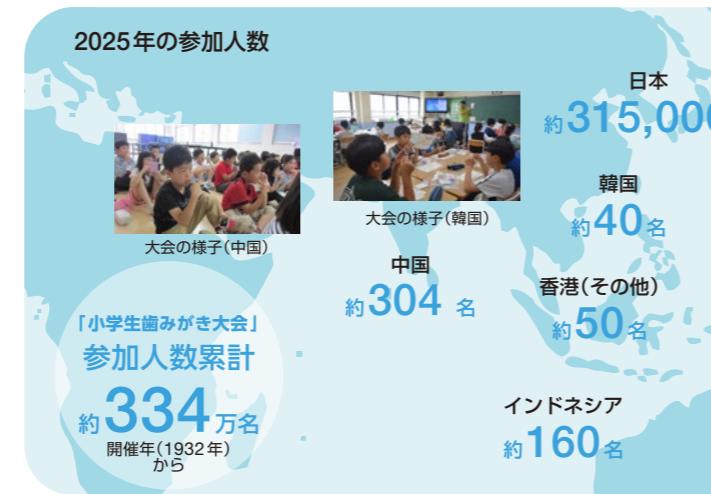
<https://go-lion.jp/Corp017>

全国展開を始めた第71回大会からの国内参加校推移



海外での活動

「全国小学生歯みがき大会」は、日本だけにとどまらず、アジアを中心とする海外でも開催しています。また、各国の行政や歯科協会と連携し、保育所や小学校を訪問しみがき方を教え、実際にみがいてもらうという講座を行っています。また、子どもたちのみならず、地域住民の高齢者に対しても、イベントやセミナー、フォーラムなど啓発活動を行っています。

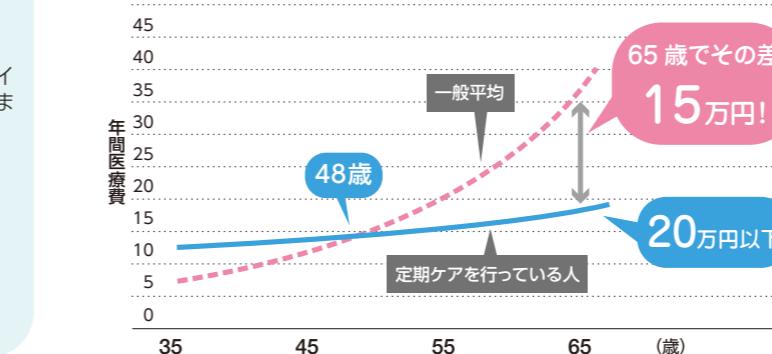


定期的に歯科健診を受けましょう

定期歯科健診と医療費

定期的に歯科健診を受診している人は、していない人に比べ総医療費（歯だけでなくすべての病気）が減少するという調査結果があります。「お口の健康は全身に影響する」とのことのあらわれです。

年間総医療費の比較



歯科医院でできること

口腔内検査

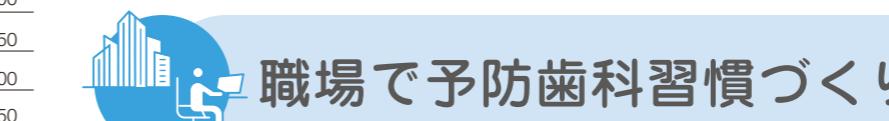
歯や歯ぐきの状態のチェック、お口の中の細菌数の計測など。

歯のメンテナンス

高濃度のフッ素を歯に塗布するむし歯予防。
普段の歯みがきでは落としきれない歯垢（プラーク）や、ハブラシでは落とせない歯石（歯垢が石灰化したもの）を、専用機器で取り除く歯の清掃。

歯みがき指導

一人ひとりのお口の状態に合ったセルフケア方法の指導。歯間ブラシやデンタルフロス使用のアドバイス。



法人向けサービス「おくちプラスユー」

ライオンでは、企業の従業員様などにオーラルケアセミナーやお口の健康状態がわかる唾液検査などを提供しています。おくちから始める健康習慣の浸透に努めています。



今日からできるSDGsアクション

- ✓ 朝と夜だけでなく昼も歯みがきしましょう（1日3回）
- ✓ デンタルフロスや歯間ブラシなども使いましょう
- ✓ 定期的に歯科健診を受けましょう
- ✓ 歯科医院で歯みがきの指導をしてもらいましょう



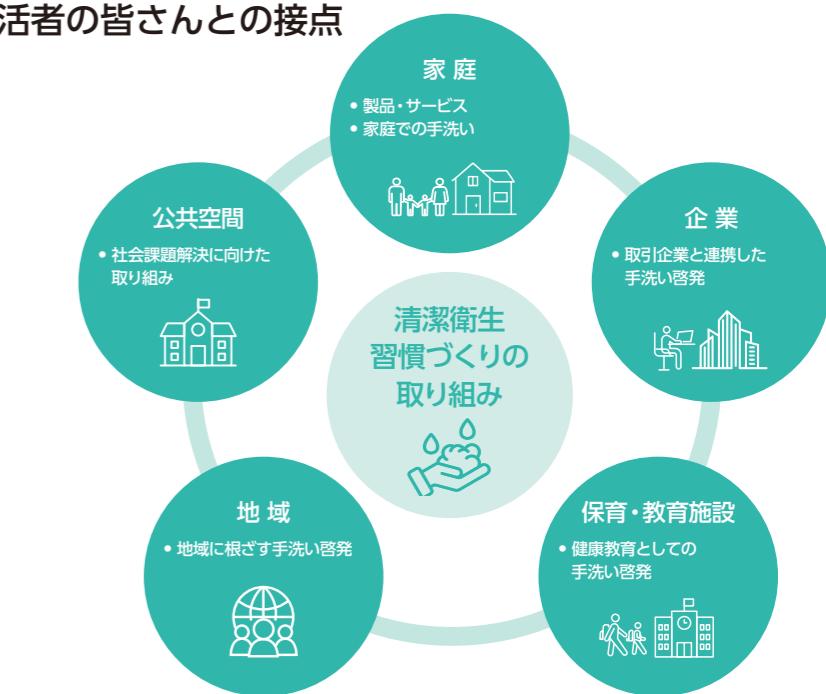
<https://go-lion.jp/Corp123>

清潔・衛生 習慣づくり

手指・身体の清潔・衛生の普及啓発活動や保育所・幼稚園・小学校等で実施しています。日本を含むアジア地域において、手指体の清潔衛生に加え食の安全を含めて製品提供と啓発活動を展開しています。



生活者の皆さんとの接点



家庭で清潔衛生習慣づくり

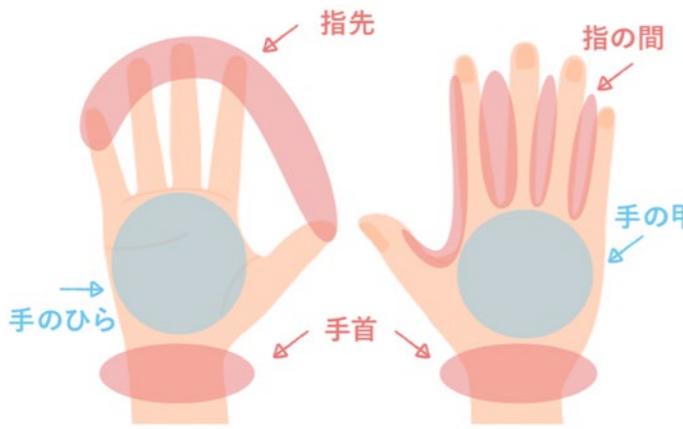
#30秒手洗いで洗い残しをなくす
#使おうハンドソープ



正しい手洗い習慣

意外に多い手の洗い残し。

手洗いの時間と部位に気をつけよう



しっかり洗ったつもりでも、「指先」「指の間」「手首」は、意外に汚れが残っていることが多いです。「洗い残しのない」手洗いをマスターすることが大切です。

正しい手洗いできていますか？

ライオンは、イラストや動画を活用して正しい手洗い方法をお伝えしています。「洗い残しのない」手洗いを身につけましょう。



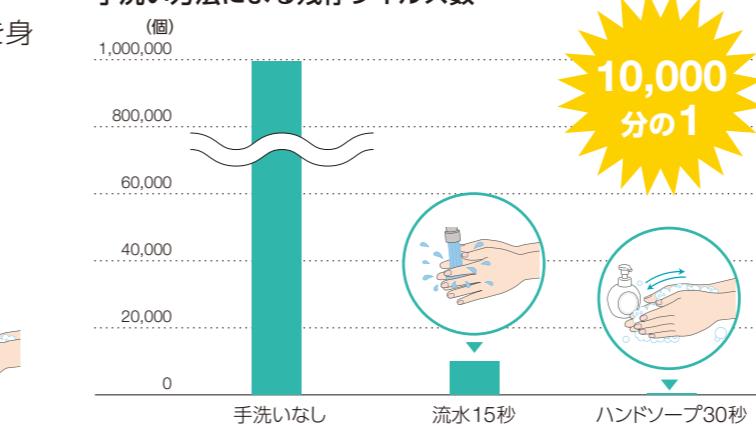
おうちでお子さんとの楽しい手洗いのための動画はこちら
<https://go-lion.jp/Corp124>



ハンドソープを使う習慣

30秒しっかりと洗うとウイルスはほとんどなくなる

手洗い方法による残存ウイルス数



石けんやハンドソープの泡は汚れを吸い寄せる作用があります。手に付着しているウイルスは、流水のみの手洗いでは15秒で100分の1になりますが、ハンドソープを使った手洗いではもみ洗い30秒で1万分の1に減るという実験結果が出ています。

出所：森功次ほか 感染症学雑誌、80:496-500,2006
<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>

習慣化のためのキレイキレイの取り組み

手をかざすだけで出てくるハンドソープ

自動的にたっぷり泡が出てくるから、力の弱い幼児でも手をかざすだけでハンドソープ手洗いが簡単にできます。衛生意識の高まりによる非接触ニーズにも対応しました。

マイボトル製作

子どもがハンドソープを使いたくなるように、マイボトル製作で子どもの関心を高め、自分から「したくなる」ための習慣づくりに取り組んでいます。



『キレイキレイ
薬用泡ハンドソープ専用
オートディスペンサー』

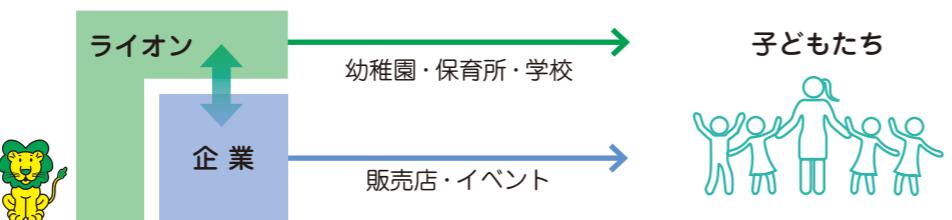


保育・教育施設、小売店との清潔衛生習慣づくり

子どもたちへの正しい手洗い啓発活動

ライオンは、幼稚園・保育所・学校・企業と連携しながら、子どもたちへ正しい手洗い啓発活動を行っています。

約 **51,600名**
の園児・児童がこの活動に参加
(2012~2024年累計)



幼稚園・保育所

若手社員の研修の一環として、2014年から開始しました。毎年100名前後の社員がチームに分かれ、全国の幼稚園や保育所で「おててをアラウータンたいそう」を一緒に歌いながら、園児に手洗いの大切さを伝えています。

おててをアラウータンたいそう

正しい手洗いに必要なポーズを、「ウナギ」「タコ」「イカ」などの生き物に例えて、子どもたちにも覚えやすくした体操です。



学校

2021年から啓発活動を小学校へも拡大しました。社員がオンラインで参加するハイブリッド型の出張授業を行い、「自分と大切な人の健康を守る正しい手洗いを学ぼう」をテーマに、参加した児童が社員とともに考え、正しい手洗いについての理解と習慣の定着を行っています。

海外での啓発活動

『キレイキレイ』ブランドのハンドソープは、2005年より海外展開を始め、現在では世界7カ国で事業を展開しています。商品の提供とともに、人々の清潔衛生意識の向上を目指し、清潔衛生習慣の定着活動を行っています



教室とオンラインをつなぐハイブリット授業



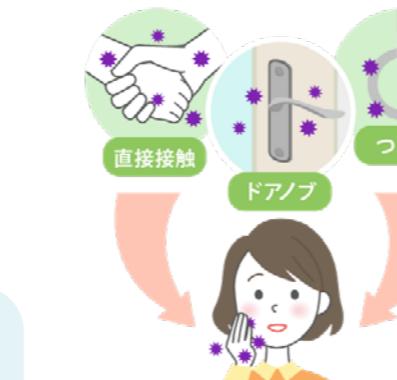
取引先と連携し幼稚園・保育所を訪問



公共空間で清潔衛生習慣づくり



外出先でもこまめに手洗い・消毒をしましょう



外出先での手のバイ菌・汚れに対する意識が拡大しています。不特定多数人が触る場所は、ウィルスや細菌を持つ人が触った場合、接触感染のリスクがあります。外出先でも手洗いや手指の消毒を行うことが大切です。

不特定多数人が触る場所とは?
電車やバスのつり革、エスカレーターの手すり、エレベーターのボタン、公園の遊具など

キレイキレイ
薬用手指の消毒ジェルプラス



『キレイキレイ薬用手指の消毒ジェルプラス』携帯用もあり外出の際に持ち運びしやすくこまめに使えます。細口ノズルなので適量を出しやすく、ジェルタイプで液だれを気にせず、いつでもどこでも使えます

公共施設や企業との取り組み



「大切な誰かを想い、清潔衛生行動をとる」ということをサポートするための活動です。手洗い習慣形成や清潔衛生行動の支援を、子どもたちの生活を支え守る皆様と一緒に活動を広げていき、家族で健やかに過ごす毎日を応援します。



校内に設置

今日からできるSDGsアクション



✓ 正しい方法で手洗いをしましょう

✓ ハンドソープで手のバイ菌・汚れの洗い残しをなくしましょう

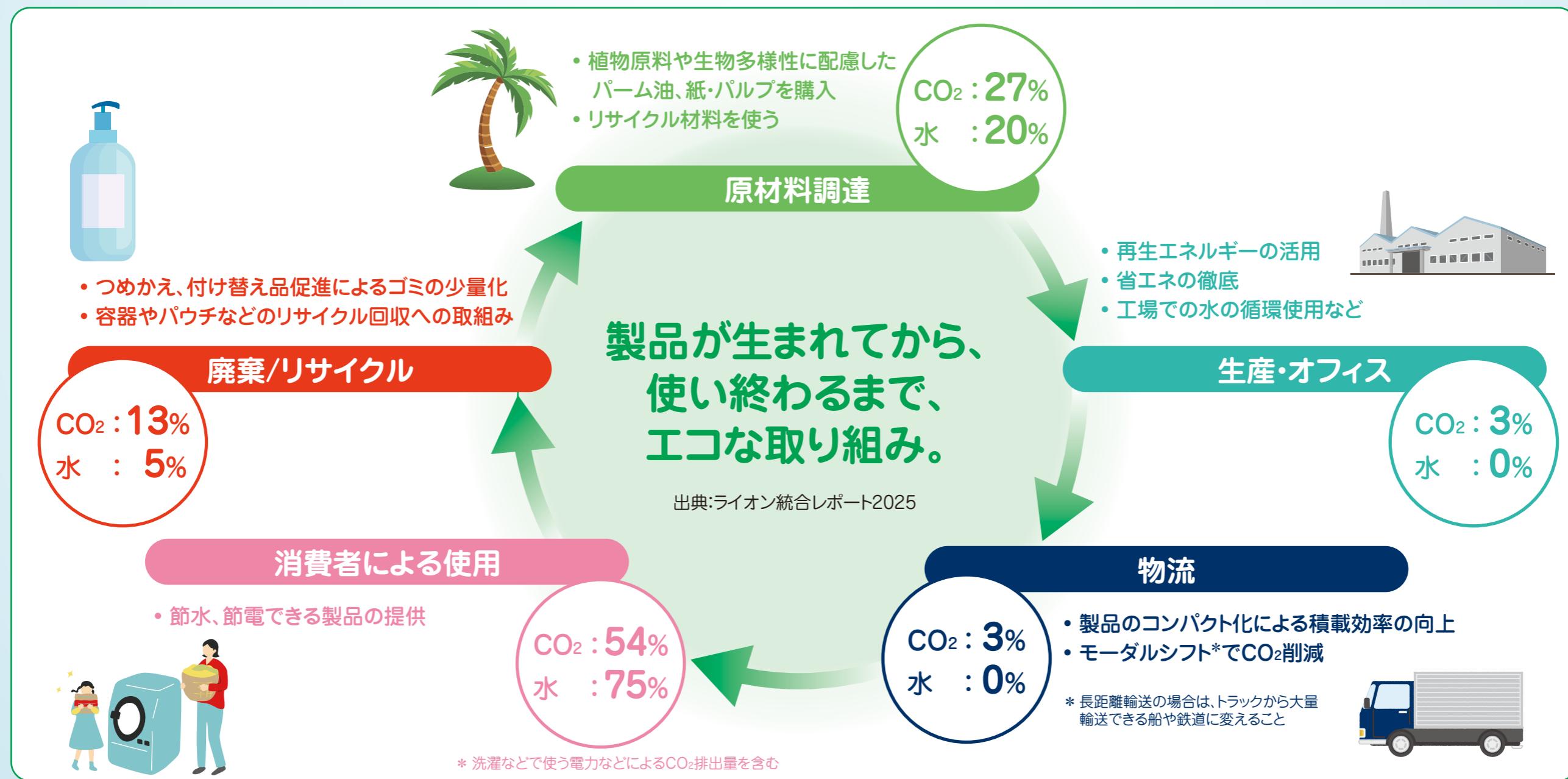
✓ 外でも手洗い・消毒をしましょう



サステナブルな地球環境への取組み推進

当社グループの活動の独自性は、パーカス「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)」を起点として、生活者とともにつくる「エコの習慣化」を推進する点にあります。「消費者による使用」のステージでは、家庭での洗濯等には電力や水が使用されるため、製品の使用によるCO₂排出量と水使用量の割合が最も高くなっています。当社グループは「水を大切にする習慣づくり」と「プラスチックを無駄にしない習慣づくり」に注力して、「地球にやさしいライフスタイル」を提供し、くらしをムリなくサステナブルにしていくことで、「脱炭素社会」「資源循環型社会」の実現に貢献します。

当社グループ事業による、製品のライフサイクルにおける環境負荷の割合(CO₂の排出割合、水の使用割合)と環境負荷低減に向けた活動





水を大切にする 習慣づくり

ライオン製品における原材料調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクルの中で、水を最も使用する工程は「消費者による使用」の段階です。水を大切にする習慣づくりに向けて、節水型の製品の提案を行っています。



ライオンの
節水型製品の一例



NANOX one : すすぎ1回で節水

CHARMY Magica : 油汚れをサラサラ落とせて節水

ルックプラスおふろの防カビくん煙剤 : カビ予防でカビ取り掃除の水を削減

ソフトインワン : コンディショナーが一緒になっていて髪をすぐ回数が減って節水



節水型製品を使って、CO₂削減に貢献しましょう

節水・節電と脱炭素(CO₂削減)

私たちの身の回りでできる「脱炭素」のキーワードは「水」です。意外に知られていませんが、節水は社会全体の節電やCO₂削減にもつながります。

節水は社会全体の節電やCO₂削減に

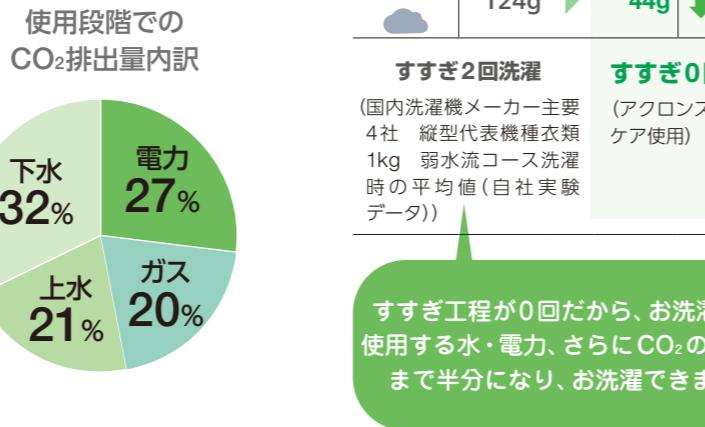
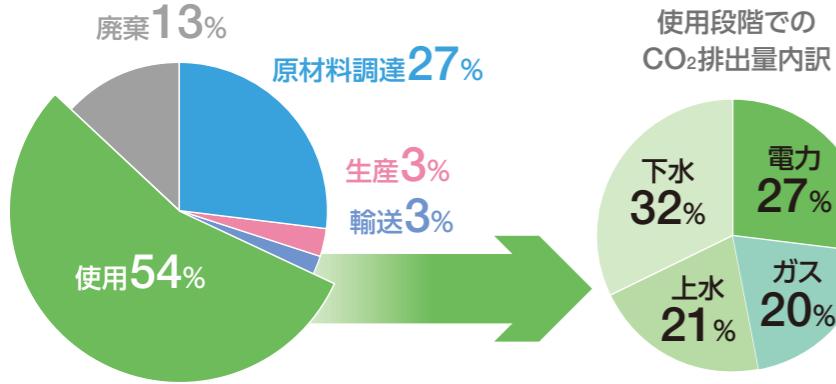
CO₂は、石油や天然ガスなどのエネルギーを使うと発生し、発電や水を製造するときにもエネルギーを使いCO₂が発生します。

ライオン製品のライフサイクル*で最もCO₂を排出するのは商品の使用段階です。うち、上下水道・電気・ガスの順でCO₂の排出量が多くなっています。

つまり、家庭での節水・節電はみんなが身近にできるCO₂削減です。

* 製品の原材料調達から、製品を使用し、廃棄されるまでの一連の過程

ライオン製品ライフサイクル各段階のCO₂排出量



水・電力・CO₂も 約5割カット*

* すすぎ工程2回に比べ
0回設定の場合



水	131L	45L	↓ 65%
電力	18Wh	10Wh	↓ 44%
CO ₂	124g	44g	↓ 64%

節水につながるすすぎ1回洗濯

NANOX oneを使っておうちですすぎ1回の洗濯を実施すると、年間で約11,160ℓ^{*1}もの水を削減することができます。例えるならばお風呂の浴槽に溜める量の約2か月分^{*2}になります。そしてこれを日本の全世帯で取り組むと年間で約5.3億m³^{*3}もの水の削減につながります。例えるなら黒部ダム約2.6個分^{*4}となります。

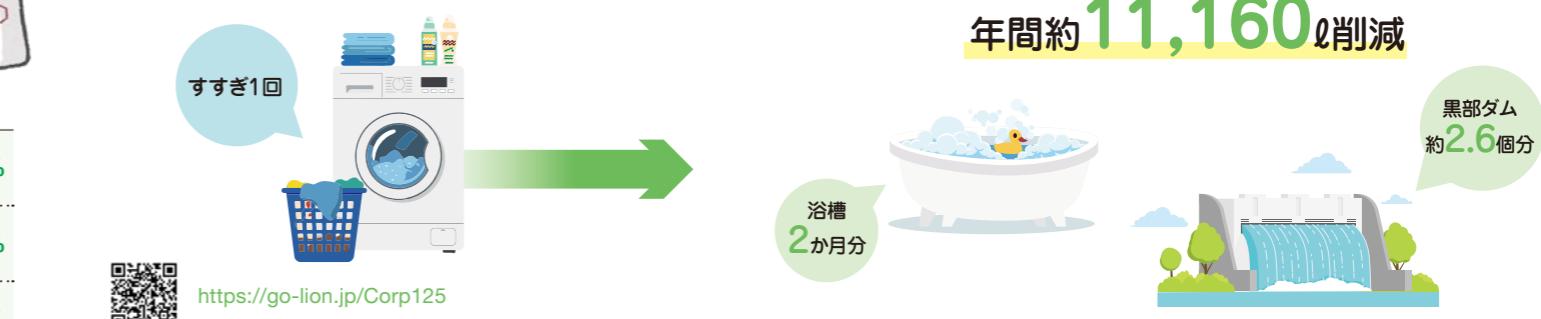
* 1 2人以上世帯の平均洗濯回数(約310回/年)および主要4社縦型洗濯機における衣類3kg・標準コースで洗濯した場合の平均水量(すすぎ2回約123L/回)より算出。(ライオン調べ)

* 2 浴槽での使用水量を200Lとし毎日溜めた場合として算出。

* 3 全世帯の総洗濯回数(約1468万回/年)および主要4社縦型洗濯機における衣類約3kg・標準コースで洗濯した場合の平均水量(すすぎ2回約123L/回、すすぎ1回約87L/回)より算出。(ライオン調べ)

* 4 黒部ダムの総貯水容量(約2億m³)から算出。

年間約11,160ℓ削減



今日からできるSDGsアクション

- ✓ 衣服を洗濯する時はすすぎ0回か1回でOKの洗剤を選び、設定を合わせて洗濯しましょう
- ✓ 節水ができる商品を確認しましょう
- ✓ 節水・節電でCO₂削減や家計にもやさしい行動をしましょう





プラスチックを無駄にしない習慣づくり

プラスチック問題は、廃棄の際に生じるCO₂の排出や海洋プラスチックごみによる生物多様性への影響など、様々な環境問題とも関連しています。

ライオンは、プラスチックを活用して事業展開する企業の責任として、プラスチック資源循環の推進に取り組んでいます。

ハブラシリサイクル

ハブラシ・リサイクルプログラム

捨ててしまえばごみとなる使用済みハブラシを回収・リサイクルし、新しいプラスチック製品に生まれ変わらせるプログラムです。また、毎月8日を「歯ブラシ交換デー」とし、毎月1回定期的なハブラシの交換を呼びかけています。廃棄される使用済みのハブラシを回収してリサイクルを進めることで、環境への負荷軽減、循環型社会に貢献することを目指しています。プログラム参加者は、回収量に応じてプラスチック製品との交換や、任意の慈善事業団体に寄付することができます。

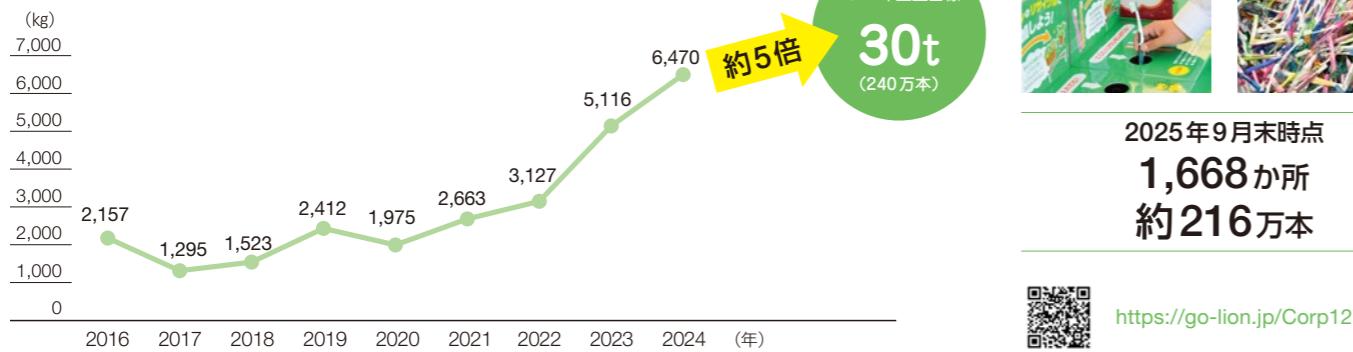


パウチリサイクル

東洋インキ株式会社と共に、洗剤等のつめかえパックのリサイクル性を向上する「剥離リサイクル技術」の確立に取り組み、新技術を採用した製品を2024年11月に数量限定で発売しました。複合素材を分離し、高純度な単一素材として回収可能になることで、リサイクルの促進が期待できます。



回収実績と目標 (2025年9月末時点)



本技術を採用したつめかえパックには
黄色い印が付いています

今日からできるSDGsアクション

- ✓ 詰め替え品を購入し、本体容器に詰め替えましょう
- ✓ ワンウェイ(使い捨て)プラスチックの使用をやめましょう
- ✓ 分別してプラスチックのリサイクルに参加しましょう

エコ習慣で
いつの間にか
環境貢献

従業員の成長と会社の発展の実現 ——ライオンで働く人たち

従業員の働きがいや志(こころざし)、モチベーションを高めることが、生産性の向上と、新しい価値の創出につながると考えています。そのためライオンでは、多彩な人材の活躍、多様な働き方、主体性を活かす人材開発とともに、健康サポートとより良い職場環境づくりに努めています。



人材開発

従業員が自律的に社内外の知見を習得して成長につなげられるようサポートをしています。

【ライオン・キャリアビレッジ(LCV)】

従業員一人ひとりの成長とそれによる組織の成長を目指して、個々の自律的な学びをサポートする学びのプラットフォーム「ライオン・キャリアビレッジ(LCV)」を2019年に導入しました。e-ラーニングによるコンテンツ学習と少人数の討議プログラムなどがあり、多くの従業員が利用しています。

【新事業創出「NOIL」】

新しい価値を事業として生み出すことが目的の社内ベンチャープログラム。2019年から開始し、経営層と外部専門家に認められた提案は、自らの手で事業を立ち上げていきます。

一人ひとりの専門性の獲得と向上

グローバルな競争環境で価値を生み出せる、高い専門性を持ったプロフェッショナル人材の育成を目的として、職種・職能領域を束ねた「職群」ごとに組織横断的な人材育成、キャリア開発にも取り組んでいます。

* 職群とは、求められる専門性が近い機能・職種を組織横断的に束ねた専門性の分類です。

事業化の実現例

「あらゆる人生を痛快で面白く」をビジョンに株式会社休日ハックを設立しました。何かしたいけど何をすれば良いかわからない、新しい挑戦やワクワクする楽しい事がしたいと考えている人々に、自分では思いつかないような最高の出会いや体験を提供します。現在では「街ハック!」という街全体を体験に変えるサービスを主軸に新たな生活習慣や価値をオモシロおかしく提供していきます。



株式会社休日ハック 代表取締役社長
田中 和貴



職群別セミナー実施時の様子

ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの推進

グローバルでサステナブルな企業を目指すライオンは、従業員のキャリア、家事、育児のジェンダー・ギャップ解消に取り組んでいます。

世界の中でジェンダー・ギャップ指数*の低い日本では、男女の役割意識に関する思い込みを多くの人が持っています。その思い込みを超えて、男女にかかわらずチャレンジしやすい環境づくりで、働き方やキャリアの多様性をサポートします。

また、2022年より経営層、部門長を対象としたアンコンシャス・バイアス勉強会や、キャリア、生活環境別に分類したそれぞれの層に対し、次世代リーダー育成研修を実施し、お互いを受容し、多様で多彩な人材が活躍する組織づくりを進めています。

* 146カ国中116位(グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2022)

ワークライフエンリッチメントの推進

従業員一人ひとりが働きがいを持って自律的に働ける職場環境を整備しています。テレワーク、フレックスを活用した自律的な働き方は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も継続していきます。

取り組み事例:

テレワーク、フレックス時の半休と中抜けを利用した働き方



従業員の健康増進

従業員が健康であることは、会社としても生産性や創造性が高まります。そのため、ライオンでは毎年、すべての事業所にて歯科健診を実施するほか、予防的歯科受診や三大ガン健診の費用補助、個人のスマートフォンで健診結果や健康リスクの閲覧、食事や運動の記録ができる独自の健康情報アプリ活用など、より良い健康行動の習慣化に取り組んでいます。

2023年4月に移転した蔵前本社には、各フロアに健康行動の習慣化に向けた環境づくりを行っています。

各執務フロアにある施設



社会や環境に配慮した原材料の調達・使用

ライオンの商品には、海外から原材料を調達しているものもあります。一方、特に発展途上国では森林破壊などの環境問題や、人権侵害などの社会問題をはらんでいます。ライオンは各種認証制度を活用し持続可能な調達を進めています。



持続可能なパーム油の調達

パーム油は、アブラヤシという植物から採れる植物油であり、日本をはじめ多くの国が輸入に頼っています。このパーム油調達の過程では、違法森林伐採による森林破壊や児童労働（子どもが農園で働く）、搾取的な低賃金労働などの人権・労働問題が指摘されています。

RSPOへの加盟

ライオンは、2006年から「持続可能なパーム油のための円卓会議(RSPO)」に加盟し、2012年からRSPOの認証基準（環境や社会に悪影響を与えないなど）を満たしたパーム油の調達を進めています。消費者に向けた商品のパーム由来の主要原料に関して、2030年までに、認証パーム油・パーム核油及びそれらの誘導体(RSPO等)を全量調達することを目指しています。



持続可能な紙・パルプの調達

ライオンは商品の包装などに、木材を原料とする紙・パルプを使用しています。一方で、世界では森林破壊によって、2019年からの5年間で毎年1,000万haの森林が失われています。これは東京ドーム4個分が、1分ごとに消失していることを意味しています。

出所：WWFジャパン https://www.wwf.or.jp/campaign/specialpp/savetogether_forest/



FSC®認証紙の使用

ライオンは、FSC®認証紙などの第三者認証紙の調達を進めています。2023年時点での主要商品の約99%は国内原紙メーカーから調達した第三者認証紙を使用しています。2030年までに、認証紙・パルプ(FSC、PEFC等)を全量調達することを目指しています。



* Forest Stewardship Council®, 森林管理協議会。責任ある森林管理を世界に普及させ、森林の適切な利用と保全のために活動することを目的とする国際的な非営利団体

FSC認証ラベル：「森林の管理が環境や地域社会に配慮して適切に行われているかどうか」を評価・認証し、そうした森林から生産され、その他適切な森林資源の使用につながる原材料を使用した製品であることを証明するもの

発展途上国の農園にひそんでいる環境・社会課題



持続可能なミントの調達

ライオンのハミガキの香料には、上質な天然ミントを使用しています。その一つである「和種ハッカ」は、インドで多く生産されています。しかしインドでのミント生産では、持続可能な労働条件や生産条件などが整えられた「認証農家」が不足しています。



和種ハッカと認証農家

認証ミントへの切り替え

ライオンは、ハミガキに使用するすべての「和種ハッカ」について、厳しい審査を通った認証ミント^{＊1}への切り替えを進めています。ライオンは、認証ミントを調達・継続購入することで、認証農家の拡大を促進し、サステナブルなミント生産の仕組みの実現を支援しています。

^{＊1} 持続可能な農業サプライチェーンを支えるSAI (Sustainable Agriculture Initiative) Platformが提供する、経営・環境・労働・生産に関する条件が無い、FSA (Farm Sustainability Assessment)^{＊2}の検証を受けた「認証農家」が生産するミント

^{＊2} 農場経営の持続可能性、SAI Platformからの127の質問回答によって検証格付け



認証ミントが使用されているライオンの商品例
『クリニカアドバンテージハミガキ』

今日からできるSDGsアクション



✓ 買い物をする際はサステナブルな認証マークやラベルをチェックしましょう



地域社会との 生物多様性保全活動



生物多様性とは？

自然の中では、動物や植物、微生物など様々な生物が関わり合い、バランスを取りながら生態系を形成しています。このように、たくさんの生き物がいることや、そのつながりを「生物多様性」といいます。

私たち人類もこの一員として多くの恩恵を受けていますが、今、生物多様性は世界中で危機的な状況にあります。その原因は、自然資源の過剰な利用、外来生物の持ち込み、海洋汚染など人間による活動が影響していると指摘されています。

ライオンの生物多様性保全の考え方

ライオンは、工場などで排水や温室効果ガスの排出、さらには商品使用後の容器の廃棄に至るまで、生産から商品の使用後までのすべての場面で生物多様性に影響を与えています。

そこで、自然資源の持続可能な利用に努めるとともに、自然共生社会の実現に積極的に貢献することを目指し、生物多様性の保全と、生物多様性に配慮した習慣づくりに取り組んでいます。


今日からできる
SDGs アクション




✓ 保全活動を知ってみましょう

✓ 保全活動を考えてみましょう

✓ 保全活動に参加してみましょう

ライオンが取り組む生物多様性の保全活動(2025年12月時点)

国内全15カ所の
事業所・オフィスで活動中



10 LCCOC*(香川県)

- トンボ池(ビオトープ)整備活動
- 地域でのエコ習慣啓発



*ライオンケミカル(株)オレオケミカル事業所



4 千葉工場

- 里山ビオトープ整備活動
- 地域でのエコ習慣啓発



ライオンの各事業所・オフィスでの
生物多様性への取り組みに関する最新状況は
左記よりご確認ください。
<https://go-lion.jp/Corp135>

14 大阪工場

アカウミガメの保護活動
参加



8 名古屋オフィス (愛知県)

名古屋城ヒメボタル保護
活動支援



パートナーと目指す 持続可能な社会の実現

なぜ様々なパートナーと協働するの？

世界中のあらゆる人たちの協力なしにはSDGsの目標は達成できません。お互いの得意分野や専門性を持ち寄ることができれば、双方の相乗効果が発揮できると考えています。

ライオンは、SDGsの活動において、製品・サービス、資金や技術、体制面で行政や自治体、NGO・NPO、そして民間企業と取り組み、パートナーシップを推進しています。

NPO・民間企業との取り組み

I おくちからだプロジェクト

子ども達のオーラルヘルスケアの習慣づくりと自己肯定感向上を目指し、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと共におくちからだプロジェクトを展開しています。「楽しく遊びながら学ぶ体験」「褒められる体験」「他者とコミュニケーションをとる体験」を組み込んだ「歯と口の健康」をテーマとした体験プログラムを開発し、こども食堂などの場を通じて、子ども達へ提供しています。

さらに、異業種企業や自治体などと連携し、より良い体験をより多くの人々へ届けています。

取り組み(一例)

- ・株式会社FANCL×日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
- ・宮古島海上保安部 など

 <https://go-lion.jp/Corp132>



NPO・民間企業との取り組み

I おくちからだプロジェクト

子ども達のオーラルヘルスケアの習慣づくりと自己肯定感向上を目指し、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと共におくちからだプロジェクトを展開しています。「楽しく遊びながら学ぶ体験」「褒められる体験」「他者とコミュニケーションをとる体験」を組み込んだ「歯と口の健康」をテーマとした体験プログラムを開発し、こども食堂などの場を通じて、子ども達へ提供しています。

さらに、異業種企業や自治体などと連携し、より良い体験をより多くの人々へ届けています。

取り組み(一例)

- ・株式会社FANCL×日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社
- ・宮古島海上保安部 など

 <https://go-lion.jp/Corp132>



行政との取り組み

I エコ・ファースト企業

ライオンは2008年に製造業として初めて環境省のエコ・ファースト企業*に認定されました。以来、他のエコ・ファースト企業および環境行政との連携を強化し、地球環境問題に対する取り組みを進めています。

活動の一つとして、小中学生が環境問題について考えるきっかけづくりとなる「エコとわざ（『エコ』な『ことわざ』）」コンクールを開催し、環境意識の醸成に貢献しています。

* 企業が地球温暖化対策、廃棄物削減・リサイクル推進など自らの環境保全に関する取り組みを約束し、環境の分野において「先進的、独創的かつ業界をリードする事業活動」を行っている企業であることを、環境大臣が認定する制度(2024年4月現在:全94社)



自治体との取り組み

I 東北に元気を love.石巻

宮城県石巻市はライオン創業者である小林富次郎のゆかりの地でもあることから、2011年の東日本大震災以降、当社独自に復興支援活動を継続しています。

2019年、市民の皆さんの健康増進と地域の活性化を図るために、石巻市と包括連携協定を締結しました。地域のオーラルヘルスケアリーダー育成支援のための講習会を開催し、市報や市内での各種イベントにおいてオーラルに関する情報発信を続けています。



東日本大震災におけるライオンの取り組み
<https://go-lion.jp/Corp023>



オーラルヘルスケアリーダー
養成講座の様子



プロジェクトのPRをするライオンちゃん

I キレイキレイのまち坂出プロジェクト

『キレイキレイ薬用ハンドソープ』やハブラシとハミガキの生産工場があることから、ライオンと香川県坂出市は、市民の衛生習慣の浸透・定着を目的としたプロジェクトを協働で推進しています。市民の皆さんに手洗いや歯みがき習慣の大切さを伝え、健康増進を支援しています。



キレイキレイのまち坂出プロジェクト
<https://go-lion.jp/Corp025>

I 台東区包括連携協定

本社の台東区移転を機に、2023年3月、当社は台東区と包括連携協定を締結しました。7つの分野で双方協力しながら活動を推進し、台東区民の皆さまの健康増進と、地域共生及び持続可能な社会の実現に向けた地域づくりへの貢献を目指しています。

活動例

- ① 区内の保育施設職員を対象とした「歯と口の健康づくり指導者講習会」の実施



歯と口の健康づくり指導者講習会の様子(ライオン本社)

- ② 使用済みハブラシを回収するとともに、環境イベントや小中学校への出張授業を通じて普及啓発を実施



環境イベントでハブラシを回収している様子

- ③ 区内小学校にて、ライオンのラグビー部「LION FUNGS」の選手によるタグラグビー教室とマイスター*による手洗い授業の実施
* 研究キャリアと専門知識を持つ社員



児童と選手と一緒にタグラグビーをする様子



マイスターによる「衛生習慣」授業の様子

- ④ 観光振興として、休日ハック(p.11掲載)とコラボした浅草エリアの街歩き謎解きのコラボレーションを実施



浅草エリア街歩き謎解きのイメージ

会社概要(2024年12月31日現在)

商号 ライオン株式会社(Lion Corporation)
創業 1891年(明治24年)10月30日
設立 1918年(大正7年)9月

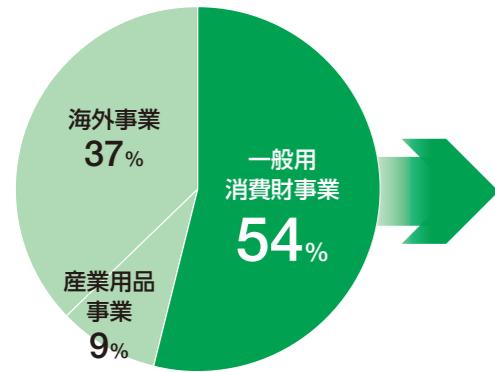
資本金 344億円
本社所在地* 〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28
従業員数 3,068名(ライオングループ 7,654名(連結))

* 2023年4月に本社を移転しました。



事業構成

2024年度 事業別売上高



オーラルケア分野

ハミガキ、ハブラシ、デンタルリンスなど



ビューティケア分野

ハンドソープ、ボディソープ、制汗剤など



ファブリックケア分野

洗濯用洗剤、柔軟剤、衣料用漂白剤など



リビングケア分野

台所用洗剤、住居用洗剤、調理関連品など



薬品分野

解熱鎮痛薬、点眼薬、皮膚薬など



その他の分野

ペット用品など



時をかける獅子

ありのまま、
ともに、
どこまでも。

時の流れの中で力強く疾走する獅子。
その躍動は過去から未来への架け橋となります。
私たちはこの獅子のように、長い歴史において
常に正直な姿勢で、共に新しい道を駆け抜けてきました。
その旅は終わりなき“習慣”の探求であり、
持続可能な未来への意志でもあります。

過去につくられたモノを未来へ新しいカタチで継承する
アップサイクルという手法で共創されたこの作品は、
これまでの感謝を胸に共に発展していく
ライオンの一人ひとりの精神を体現します。
私たちはこれからも
この精神を持って社会に貢献していきます。

「時をかける獅子」
その姿は、私たちの日々の歩みを象徴します。
その姿は、私たちの未来への約束です。